

船舶交通安全部会の現況について

海上保安庁

交通部

平成27年3月



○平成25年10月 第28回海事分科会

『船舶交通の安全・安心をめざした取組み』(答申) 《第3次交通ビジョン》

○平成26年2月 第1回船舶交通安全部会

議題 第3次交通ビジョンの推進計画について
(平成26年度重点施策実施計画)

○平成26年7月 現地視察会

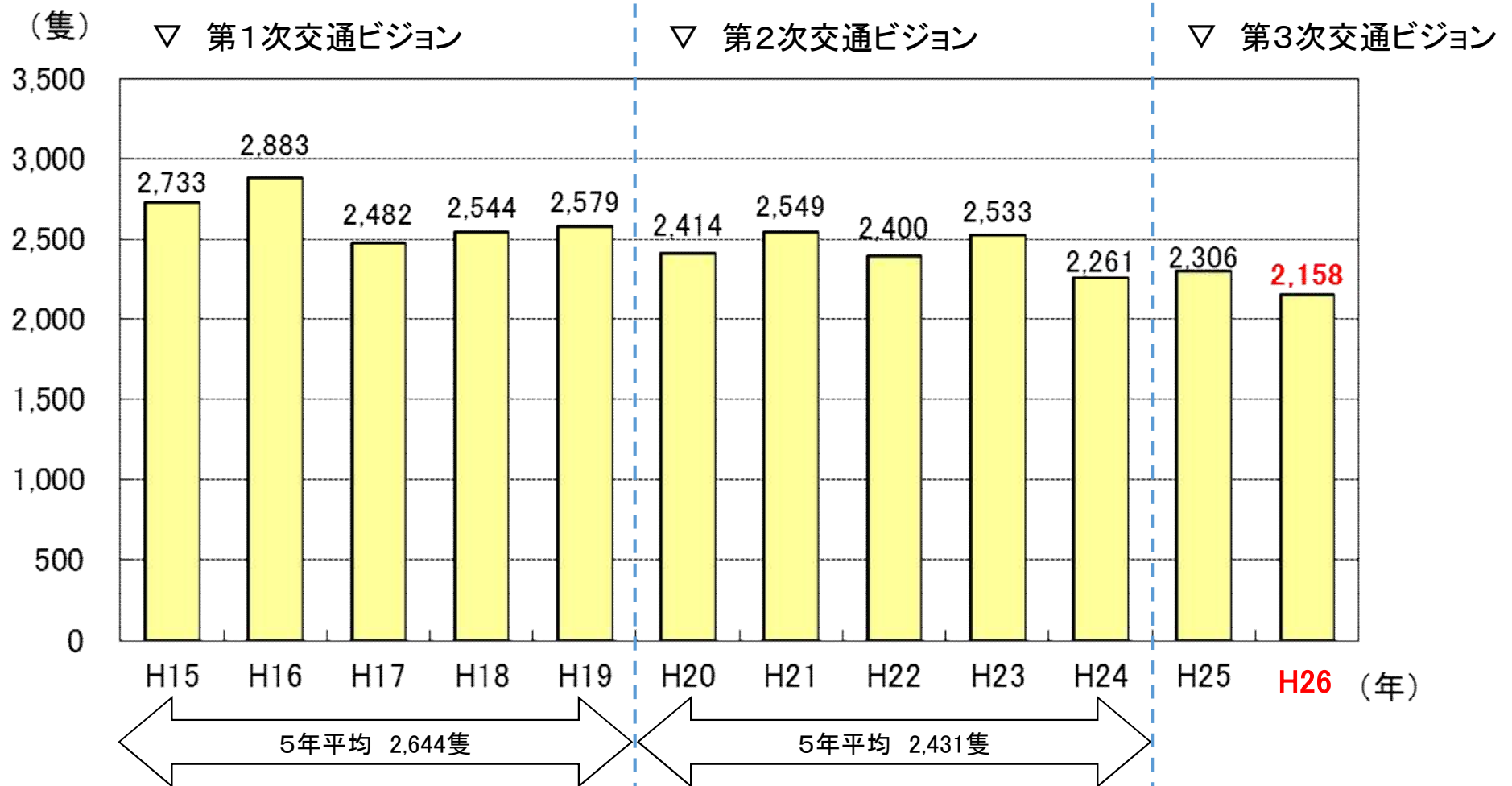
東京湾内の交通環境、東京湾海上交通センター等



○平成27年2月 第2回船舶交通安全部会

議題 第3次交通ビジョン進捗状況について
(平成26年度重点施策実施計画の進捗状況及び
平成27年度重点施策実施計画)

- ・ 平成26年の船舶事故隻数は、**2,158隻**、前年と比較して、**148隻減少** (6.4%)
- ・ 第2次交通ビジョンの期間(平成20~24年)の年平均と比較して、**273隻減少** (11.2%)
- ・ 現在の統計の取り方となった平成13年以降最少。
- ・ 要因は分析中であるが、8月豪雨など施策以外の要因による面もあり、着実な対策の検討・実施が必要。



三大湾における一元的な海上交通管制の構築

【横浜港先行整備等】

- ◆災害発生時の海上交通機能の維持、ダメージの最小化
⇒津波等の自然災害発生時において、船舶への警報等の伝達、避難海域等の情報提供を迅速確実に実施
- ◆東京湾の国際競争力の強化(経済成長)にも貢献
⇒横浜港の国際競争力強化のための強制水先の緩和にあわせ、横浜港への先行導入

4つの港内交通管制室及び東京湾海上交通センターを平成29年度に一つに統合

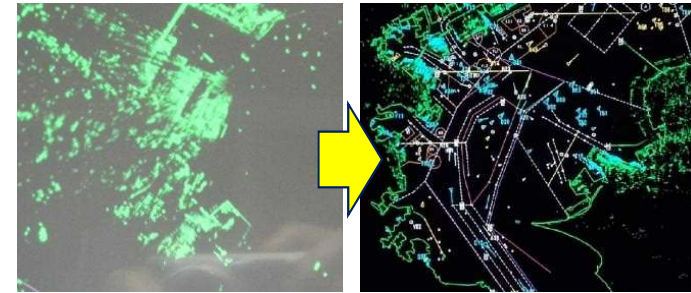


平成26年度補正(17.5億円)

横浜港への先行導入



レーダー映像の高度化



カメラ画像(夜間)の高度化

